

# ぺんぺんとわたし

岩<sup>いわ</sup>渕<sup>ぶち</sup> 由<sup>ゆ</sup>歩<sup>きは</sup>

「ぱりーん、がしゃーん。」

びっくりしました。だいどころにいくと、ぺんぺんのあしからたくさんのちがでていました。ぺんぺんは、ガラスのコップをわってしまい、あしにガラスがささってけがをしました。それをみて、

「おかあさーん、はやくきてー。」

と、わたしはなみだがとまらなくなりました。

ぺんぺんは、わたしのおとうさんです。どうしてぺんぺんかというと、わたしをあしのうえにのせてあるいてくれるからです。ペンギンのあかちゃんは、おとうさんやおかあさんのあしのうえにのってあるきかたをおぼえるそうです。

わたしは、おとうさんのペンギンあるきがだいすきです。

ペンギンあるきでいえのなかをぐるぐると、たのしく、おとうさんともっとなかよくできます。

おとうさんがガラスであしをけがしたとき、もうぺんぺんになってもらえないかも、ペンギンあるきができなくなったらどうしよう、とおもいました。でも、いま、おとうさんのあしは、すこしずつなおってきています。もうすぐぺんぺんになれるとおもいます。

わたしがおおきくなったら、おもくておとうさんのあしにのれなくなるので、いまのうちにいっぱいのおとうさんとおもいます。そして、わたしがおとなになったら、わたしが「ぺんぺん」になりたいです。

おとうさん、いつもありがとう。